



発行責任者 齋藤隆靖 編集責任者 滝沢寿隆

2023年2月15日号

平和 働き、生活できる 人権 労働条件を獲得しよう 環境

ホームページ



メール

<http://unionpeace.main.jp/>info@unionpeace.main.jp

ユニオンネット平和センター（略称：ユニオン平和）

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-15-9 武蔵野ビル 2F 労働相談室気付

TEL 070-6576-2071

FAX 03-5577-7263

全労協 23春闘に連帯しよう！ 地域共闘・ストライキで闘い抜こう！

2022年は、引き続きコロナ禍の中、ロシアによるウクライナ侵攻とアベノミクスが生んだ円安によって急激な物価上昇がもたらされ、労働者の実質賃金はさらなる低下に見舞われた。安倍元首相銃撃事件は、国葬強行による弔意の強制問題、旧統一教会と政治家の癒着の発覚へと発展した。また年末には、防衛政策の根幹を転換し、敵基地攻撃容認、防衛費倍増と増税をもたらす「安保関連3文書」が国会を経ることなく閣議決定された。

安全保障政策と同様労働者の命と健康を守るはずの労働法制が、国会での論議を素通りし、密室での協議、法解釈の変更によって軒並み制度改悪されようとしている。これらの動きはこの国の平和と民主主義を脅かすと共に、労働者の生活をさらなる貧困と混乱に陥れている。

全労協は大幅賃上げ目標として2万円以上、時給150円以上を掲げ、全国一律最賃1,500円、月額25万円以上の賃金保障を掲げている。大幅賃上げを掛け声、夢物語で終わらせないために、「ストライキ」を掲げた闘いが求められる。23春闘は、労働者・市民の生活と権利を守る闘いだけでなく、戦争をさせない、平和と民主主義の前進を目指す闘いも進めなければならない。

そのためには、「職場」活動にこだわる下からの取り組みによって、官民を超え地域から幅広い連帯が必要だ。私たちの掲げる要求の社会的な共感の広がり確信して、最低賃金再引き上げ・大幅賃上げ実現そして岸田自公政権打倒を目指して23春闘を進めよう。（全労協議長 渡邊 洋さん）

岸田政権の改憲と軍拡路線に反対し、安心して暮らせる社会を実現しよう！

岸田政権は、支持率25%に低下し、政権基盤は大きく揺れている。岸田政権はウクライナ問題、台湾問題を利用し、「国家安全保障戦略」など安保関連3文書を国民的議論もなく決定した。これにより軍事費は、増税などにより2027年度には倍増（GDP2%）となり、敵基地攻撃能力（反撃能力）を保有するという、従来の「専守防衛」の基本戦略を大転換させ先制攻撃を可能とした。

更に岸田政権は、軍備増強に向けて、沖縄の辺野古新基地建設の強行や、南西諸島へのミサイル基地建設、米国からのトマホークの購入など、戦争するための準備を進めている。

こうした日本の戦争をするための体制づくりは、中国をはじめとする周辺諸国との軍事的緊張関係を生み出し、戦争への道に突き進む可能性が大きくなっている。この安保関連3文書は、憲法9条を形骸化させる内容である。

平和憲法を守り、再び戦争を引き起こさない為にも職場から地域から大きな反対運動を作り上げていこう。ユニオンネット平和センターはその先頭で闘い抜くものである。

記：芝崎眞吾

平和・人権・環境



1.17 ユニオン平和宣伝行動 渋谷

非武装中立 憲法守れ！安保関連3文書、敵基地攻撃能力ヤメロ！！首相のG7 訪問外交



渋谷駅前

より、近隣アジア外交を！！「ユニオンニオンネット平和センター」は、17日の15時から、渋谷駅ハチ公前広場で、平和と賃上げを訴える街宣行動をした。

平和の訴えには、横断幕とボードを横目に若者たちが見てくれた。敵基地攻撃能力よりも、トマホークよりも、外交が第一、43兆円は教育、子供に使えと声を大にした。参加は、ユニオン平和、東葛ユニオン、お互いさま、京浜ユニオン、社民党新宿、市民運動家など、それぞれの闘争内容と反戦の訴えをリレートークで訴えた。声をあげることから始めよう。



芝崎さん



滝沢さん



斎藤さん

1.23 国会開会日行動

1月23日、通常国会が開会した。12時から、議員会館前で、「軍拡やめろ！軍事費増やすな！増税反対！改憲発議反対！辺野古新基地建設中止！統一協会癒着徹底追及！いのちと暮らしを守れ！」国会開会日行動が行われた。共催は、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／安倍9条改憲



国会前

NO！全国市民アクション。

第211回通常国会は1月23日に開会。会期は6月21日までの150日間の予定。過去最大となる総額114兆円超の来年度当



国会前

初予算案の年度内成立を確実にするために前倒しを構えている。岸田政権は法案

を60本、条約12本を提出する。防衛費財源を確保するため「防衛力強化資金」を設ける特別措置法案や、原発60年超の運転を可能にする原子炉等規制法改正案などが含まれる。2021年の通常国会で廃案となった入管難民法改正案も再提出する。



国会前

集会は、主催者挨拶を高田さんが行い、立憲野党議員から連帯挨拶がされた。立憲民主党吉田議員、共産党山下議員、沖縄の風高良議員、社民党福島議員、市民から、新潟県市民連合、MIC、移住連の皆さんから報告。



国会前

平和・人権・環境

1.21 新社会党旗開き

1月27日、新社会党旗開きが労働者、庶民に根ざした政治をス



岡崎委員長

ローガンに開催された。コロナ禍で中断していた新社会党新春旗開きがオンライン兼用で全国配信した。2023年は統一自治体選挙の年、岸田政権下での軍国化と賃金が上がらない経済下で、庶民の声を背景に社会を変える運動に転嫁、選挙を勝利しようと開会した。

主催者の新社会党岡崎ひろみ委員長挨拶が「今を生きる庶民の貧富の格差が広がる。労働者を資本家は消耗品にする。防衛費拡大、「攻められたら」が強調され、軍事力強化はやむ得ない空気を広められる。ジェンダー不平等を拡大させる。今こそ主権者は国民！人を大切にしろと声をあげましょう！」と力強く話された。社民党服部幹事長は、新社会党と連携で頑張ると反され、講演は、防衛ジャーナリスト半田滋氏から、「敵基地攻撃と日米一体化防衛費倍増は国民負担に」題する話しがされ、Zoomでも配信した。

2.14 労働者・人民集会

「物価高騰下の貧困格差問題を問う」を課題に「岸田政権は政治の責任を果たせ！2・14労働者・人民集会」が2/14の夜、文京区民センターで開かれた。

講師は瀬戸大作さん(反貧困ネットワーク事務局長)から「コロナ禍と物価高騰のなかをどう生きる」か貧困ネットワークの活動から見えるものを話した。「生きていく中で、一度も良いことはなかった。学校卒業してから、一度も良いことが無かった。と繰り返す若者が多くいる。」コロナ禍での、生活保護、外国人労働者の問題等、「貧困救済の手立てを失っている。黙っていない。声を出そう！声を上げましょう。」と話された。



瀬戸さん



小林さん



文京区民センター

日通無期轉換逃れ最高裁闘争にご協力を！



change.org ネット署名 に協力願います 寄付はしなくても賛同可能です。
ネット署名の手順- 1: 名前とメールアドレスを記載する、2: 賛同をクリックする
3: ChangeORG からメールが届くのでそのメールの認証をする
これで完了！ ※スマホ等 QR コードからも署名できます
署名アドレス <https://chnge.it/KycNbFMm6L>
賛同者が多いほど、閲覧しやすくなりますので、よろしくお願いします。

※ 恐縮ですが、カンパのお願いもしております。よろしくお願いします。

振込先：郵便振替 0180-1-561308

通信欄が無記載の場合は「日通闘争カンパ」と記載願います。

2.9 共同テーブルシンポ

戦争の餌食になってたまるか！ ～山城博治さん熱く訴える

「新しい戦前にさせない」。それは今まで平和運動をやってきた人たちの共通の思いだろう。文化人らで構成する「共同テーブル」（代表＝佐高信）が呼びかけた「新しい戦前にさせない・連続シンポジウム」第1回が、2月9日東京・文京区民センターで開催された。会場はあっというまに埋



会場

まり、参加者は250人に達した。小室等さんが「死んだ男の残したものは」を歌い、シンポジウム「安保政策大転換にたちむかう」では瀨瀬厚・清水雅彦・福島瑞穂ら論客が登壇した。

しかし、なんといってもインパクトがあったのは、沖縄からやってきた山城博治さんのミニ講演「南西諸島からの告発」だった。山城さんは、腹の底からの怒りを生の言葉でぶつけた。「中国コワイのプロパガンダが広がり、ヤマトでも沖縄でも戦争反対の声が大きくなる。安保3文書は新たな沖縄戦のシナリオそのものだ。いま南西諸島では怒濤のような軍事化が進んでいる。許しているのか」。沖縄の自衛隊配備の実態を30分にわたり詳細に語った。

山城さんが何より訴えたかったのは、台湾有事はバイデン政権の陰謀だということだった。「アメリカはアフガンからも撤退したが力が弱まっている。中国と本気で戦争をやる気はない。台湾有事を煽るだけ煽っているが、沖縄の海兵隊は撤退する計画で、日本の自衛隊に前線にたて肩代わり

させるつもりだ。43兆円の軍事費を日本からふんだくり、戦争の餌食になるのは自衛隊と沖縄の人々、そして台湾の人々だ。そしてこんなバカげた戦争をさせるわけにはいかない！」。

山城さんの怒りのボルテージが上がった。そして続けた。「確かに反対運動はまだ盛り上がっていない。しかし最近の世論調査では、沖縄の人々の65%は自衛隊軍備のあり方に反対という数字があがっている。実際にミサイル配備されれば戦場になることに気づきはじめ。自民党の中にも疑問の声が出てきた。今こそ南西諸島のまやかしを暴露し、軍事化をはねかえす運動をつくろう」と訴えた。会場からは大きな賛同の拍手がおき、沖縄へのカンパもその場で10万円以上が集まった。

最後に、「社民党・市民共同」として服部良一（社民党幹事長）、岡崎ひろみ（新社会党委員長）、福島みずほ（社民党首）の各氏が並んだ。服部良一さんは「国会での防衛予算増額を止めるためにも、市民運動を広がるのがとても重要になっている。新しい戦前にさせない運動を一緒につくっていこう」と呼びかけた。第2回シンポジウムは2月28日に開く。また全国各地での運動展開が予定されている。



共同アピール

ユニオン平和に参加しましょう

ユニオン平和は、フォーラム平和・人権・環境に加盟しているユニオンの集合体です。平和・人権・環境に係わる諸課題の理論・情報・行動を発信していきます。

加入は、団体、サポーター会員として、個人単位での加入もお願いしています。

是非ご参加ください。

会費一年会費

団体：一口 1000円

個人：一口 1000円

※団体個人とも、可能な方は複数口お願いします。

※サポーター会員証を発行しています

平和・人権・環境